

とりもどそう！ 河北潟 泳げる湖、おいしい魚、 安心して使える水

流域の森や農地に支えられた汽水生態系の復活により、河北潟から豊かさを持続的に享受できる地域を目指します。

流域全体で農薬に頼らない農業が展開され、ヤマトシジミ、ウナギなどが生息する河北潟が復活し、潟漁が営まれて食卓も豊かになります。潟には、水草が増えて水も透明になり、清湖のきれいな水と自然が取り戻された流域には、色々な地場産業が発展します。そのような、地域に活力を与え続ける「河北潟」の実現がわたしたちのビジョンです。

The Kahokugata Lagoon was once home to a unique landscape known as a brackish water ecosystem, which supported the lagoon basin forests and agricultural lands. Through returning the lagoon to a brackish water ecosystem, we aim to sustain an ecologically rich region that can be enjoyed by all.

これまでの20年

河北潟で広がった環境保全活動

アサザの復活 外来植物除去活動

外来植物除去活動の継続により、絶滅の危機にあったアサザが守られました。農家や土地改良区、市民、企業、教育機関、行政、NPOなど大勢の協力により、地域に守られた水路が再生しています。

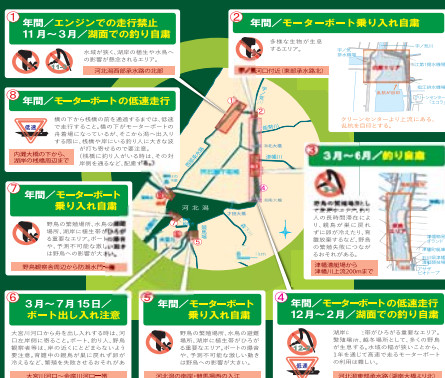
田んぼ生態系保全 生きもの元気米

生態系への影響が大きい農薬2つを使わないことを条件につくられたお米。田んぼの個性と、生物多様性を守る仕組みにより、応援の輪が広がっています。



利用者による調整 河北潟湖面利用ルール

河北潟の湖面を利用する人たちにより、自主規制のルールがつけられました。立場の異なる人たちが集い、人も野生生物も共存するために話し合われました。現在は年に1度の協議会により、ルールの見直しと拡充が図られています。



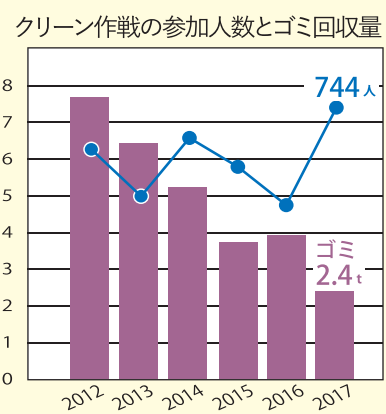
ゴミの減少 河北潟クリーン作戦

毎回数百名が参加するゴミ拾い活動が20年以上継続されており、大型ゴミは減り、ゴミだらけの印象はなくなりました。



植物の利用促進 ヨシ舟や花染め体験

ヨシの新しい活用としての「ヨシ舟づくり」、外来種の除去と利用をすすめるセイタカアワダチソウの花染めや、抜き取り大会など体験イベントも増えました。



しかし、
泳げる湖、
おいしい魚、
安心して使える水
にはなっていない

部分的な自然再生 では解決されない問題

▶ 水質

- ・CODが高い
- ・透明度が低い
- ・農業用水基準を満たしていない

濁った水を使い続けなければならない。

▶ 野生生物の 生息環境の悪化

生態系からの豊かさを
受け取ることができない。

低湿地であることを
生かした解決

河北潟は、

低湿地

河北潟は低湿地帯であるが、
現在は、その地理的条件が
マイナスにとらえられている。

これからの20年

自然資源を生かして、流域全体を豊かにする

汽水化

海水が流れ込むことによって、淡水から海産まで多種多様な生物が生息する豊かな環境が生まれます。シジミやウナギなど豊かな水産物が漁獲できる河北潟をとりもどします。潟が汽水であることを前提として流域の治水管理を一から見直します。

自然の恵みを享受する河北潟に

汽水化のメリットは？

シジミやウナギ、水草が復活します。河北潟が高付加価値の水産資源の宝庫となります。潟の水質も改善され、農産物のイメージも向上します。

農業用水は？

十分な調査と検討に基づき、農業用水の取水経路の改善や干拓地への浸出水対策などを行い、農業用水や農地への塩害の発生を抑えます。

暮らしへの影響は？

水産資源が増えて、食が豊かになります。河北潟の水位を下げる事が可能となり、水害に対する調整能力が高まる事が期待できます。



汽水とは？ 淡水と海水が混じり合った水のことを汽水といいます。河北潟はもともと汽水湖で、ウナギなど海の生きものも生息する豊かな環境でした。

流域保全

農薬に頼らない農業を推進 流域全体が健全に

潟の恵みが、新しい産業を生み出す土台となる

きれいな水から豊かな資源

河北潟に海水が流れ込み、流域が保全されることで、河川、水路、河北潟全体の水がきれいになります。水がきれいになれば、魚や貝などの水産物もたくさん食べられ、農産物の価値もいっそう高まります。一次産業、二次産業、三次産業を豊かな河北潟で結びつけることにより、自立した地域となります。

『農薬に頼らない農業』ってできるの？

まずは農薬の使用を減らしていくことから始め、生物や作物の状態をみながらすすめることで、色々な展望が生まれ、地域独自の技術力も向上することが期待できます。



河北潟湖沼研究所のミッション -ビジョンの実現に向けて-

- ・課題を達成するための調査研究の実施。
- ・研究成果の検証と、方法の構築。
- ・行政機関、地域住民、産業など、多くの関係者との連携。

5年後

河北潟ブランド立ち上げ

流域協議会の発足

流域管理アクションプランの作成

内水面漁業復活

10年後

農薬使用減少

一部再汽水化の実現

流域管理体制の確立

泳げる河北潟を
部分的に実現

生きものが増える

きれいな水の流れ

15年後

天然ウナギ漁の復活

20年後

イトヨの生息復活

防潮水門撤去・再汽水化

河北潟七珍を世界に発信

流域の農薬使用量を1割未満にする

バイオマスフローを10%増やす

林業活性化

おいしい・安心
農産物・水産物

海とつながる河北潟

資金援助、連携体制づくり、ビジョン実現に向けてのご協力をよろしくお願い申し上げます。

河北潟湖沼研究所のビジョンとミッション

「とりもどそう! 河北潟 泳げる湖、おいしい魚、安心して使える水」

制作 NPO法人河北潟湖沼研究所

〒929-0342 石川県河北郡津幡町字北中条ナ9-9 Tel 076-288-5803 Fax 076-255-6941
E-Mail info@kahokugata.sakura.ne.jp URL http://kahokugata.sakura.ne.jp

2017年7月 発行

Facebook



毎日のクリックで
応援をお願いします!
河北潟研究助成の資金に
なります。